

招 集 期 日	平 成 2 7 年 8 月 6 日 (木)		開会の場所	羽生市役所 301 会議室
開会の時刻 及び宣告者	開会の時刻	午後 1 時 3 0 分	開 会 者	委 員 長
	閉会の時刻	午後 2 時 4 5 分	閉 会 者	委 員 長
委 員 出 席 状 況				
氏 名	摘 要	氏 名	摘 要	
石 井 康 三	出 席	春 山 教 子	出 席	
岩 本 一 盛	出 席	小 島 敏 之	出 席	
古 市 明	出 席			
議 事 参 与 者 及 び 説 明 の た め の 出 席 者	山畑学校教育部長	斉藤生涯学習部長	岡戸教育総務課長	栗原学校教育課長
	米川学校給食センター所長	池澤生涯学習課長	赤坂スポーツ振興課長	加藤図書館長兼郷土資料館長
書 記 名	教育総務課総務係 横山			
会議事件名	て ん 末			
開 会		8 月 定 例 教 育 委 員 会 を 開 会		
	石井委員長	<p>教育委員会の会議は、原則公開である。人事に関する事件、その他の事件について、出席委員の 3 分の 2 以上の多数で議決した時は公開しないことが出来る。本日の日程で、議案第 45 号については議会の議決を経るべき教育予算案件のためその全部について、非公開としてよろしいか。</p> <p>異議なしの声あり。</p>		
	石井委員長	議案第 45 号の全部については非公開とする。		
日程第 1 前回会議録の承認	石井委員長	<p>前回の定例教育委員会の会議録の承認について諮った。</p> <p>異議なしの声あり。</p>		
	石井委員長	前回会議録は、承認された旨宣した。		

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第2 報告事項1 平成27年度教科書展示会の結果について</p>	<p>石井委員長 学校教育課長</p>	<p>報告事項1について、学校教育課長より説明を求めた。</p> <p>羽生北小学校内の羽生教科書センターを会場とし、6月19日から7月6日まで展示会を開催した。平日は9時30分から16時30分まで、土日は6月20日と28日に、9時30分から12時まで開場時間とした。来場者数は小学校の教科書採択があった昨年度は594人であったが、今年度は中学校の教科書採択であり、498人の来場者があった。来場者の内訳は、学校関係者が中心である。</p>
<p>報告事項2 第18回羽生市吹奏楽フェスティバルの開催について</p>	<p>石井委員長 生涯学習課長</p>	<p>報告事項2から4について、生涯学習課長より説明を求めた。</p> <p>10月4日の11時より産業文化ホール大ホールで開催予定である。入場料は無料、中学校の部で6校、高校の部で6校、一般の部で1団体、計13団体が参加を予定している。また、9月21日に、産業文化ホールにおいて市内3中学校を集め、プロの演奏者を10名程招き、マスターズクリニックを行う。ここでフェスティバルに向け技術を磨いてもらう予定である。</p>
<p>報告事項3 平成27年度羽生市人権教育指導者研修会の開催について</p>	<p>生涯学習課長</p>	<p>9月5日から12月5日まで5回に亘り開催する。今回新たに行う講義は、初日の9月5日に日本ブラインドサッカー協会ファシリテーターを講師として、眼の不自由な方、障がい者の方と共に生きることを学ぶというもの、最終日の12月5日に、インターネット時代における同和問題と題して、参加者同士の話し合いを通して、問題解決の啓発を図るというもの。</p>
<p>報告事項4 平成27年度羽生市人権教育研修会の開催について</p>	<p>生涯学習課長</p>	<p>例年は8月、夏休みの時期に行っていたが、今回は北埼玉地区人権フェスティバルが開催される10月17日の午後、産業文化ホールを会場として開催する。講師は、車いすテニスプレイヤーの上地結衣氏である。演題は、「スポーツの持つ力、夢、未来」であり、パラリンピックにも出場することから、これからの羽生市</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項5 チャレンジtheスポーツ2015の結果について</p> <p>報告事項6 第44回羽生市少年野球大会の結果について</p> <p>報告事項7 第33回羽生市教育長杯争奪中学野球大会の開催について</p> <p>報告事項8 第29回羽生市民体育祭の開催について</p>	<p>石井委員長</p> <p>スポーツ振興課長</p> <p>スポーツ振興課長</p> <p>スポーツ振興課長</p> <p>スポーツ振興課長</p>	<p>にとって良い講演となると思い、講演していただくこととなった。</p> <p>報告事項5から8について、スポーツ振興課長より説明を求めた。</p> <p>スポーツを行うきっかけづくりとして、体力測定で自己の体力を認識し、その後ニュースポーツを体験する事業である。7月4日に、羽生市体育館で開催した。参加人数は、143名で、うち65歳以上の方が43名、最高年齢83歳と、たくさんの高齢者の方にお越しいただいた。今年も健康づくり推進課とタイアップし、血圧・体脂肪測定その他、骨密度・血管年齢を測定した。体力測定の時間が多くかかってしまったが、今回の経験を活かし、次年度はさらに充実したものとしていきたい。</p> <p>当初の予定では6月20日、21日に開催する予定であったが、グラウンドコンディション不良により、2日目を7月12日に延期して開催した。試合結果は、Aブロック、Bブロックとも、新郷マリナーズが優勝した。大会運営をスポーツ少年団野球部会が主管しており、スムーズに進行することができた。</p> <p>スポーツ少年団の野球部会を主管として9月20日、21日に中央公園野球場にて開催する。参加校は、市内の3中学に加え、市外から5校を招待する予定である。</p> <p>羽生市、羽生市教育委員会、羽生市体育協会が主催、羽生市民体育祭実行委員会が主管して、10月18日に開催する。雨天順延はしない。自治会連合会、体育協会、各地区体育振興会それぞれの会長、各地区からの推薦者、スポーツ推進委員、合計79名で実行委員会を組織して大会の運営にあたる。第1回の実行委員会は、8月27日に行われる。競技方法は、総合優勝制の、地区対抗戦</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項9 「親子で楽しむ絵本とわらべうた講座」の開催について</p> <p>報告事項10 ふるさと講座Ⅰ「ふるさと歴史散歩～井泉地区を歩く～」の開催について</p> <p>報告事項11 その他</p>	石井委員長	<p>である。昨年度は三田ヶ谷地区が22回大会以来の優勝を飾り、手子林地区の5連覇を阻む結果となり、今年も楽しみである。</p> <p>報告事項9から10について、図書館長兼郷土資料館長より説明を求めた。</p>
	図書館兼郷土資料館長	<p>これは昨年から始めた講座であり、今年は10月5日、10月19日の2日間で開催する。時間は10時30分から12時、講師は吉田優子氏。募集人員は、2歳から3歳の子どもとその保護者15組と、わらべうた・絵本に興味のある方10名であり、この講座はボランティアの育成も兼ねている。広報9月号、ホームページ等に開催し、周知する。昨年度は、台風により1日日程がずれたにも関わらず、30名を超える参加者があった。</p>
	図書館兼郷土資料館長	<p>11年目を迎え恒例の講座となったが、今回は井泉地区が対象である。11月15日に開催、定員30名を予定している。講師は文化財保護審議委員の間仁田勝氏にお願いし、広報10月号に掲載して募集する。平成26年度は、川俣地区で実施し32名の参加があったが、距離が長くなり過ぎた反省を踏まえコースを設定したい。</p>
石井委員長	<p>その他の報告事項を求めた。</p>	
生涯学習課長	<p>「親子で学んで！食べて！おいしい は・な・し」について報告する。家庭教育支援の講習会であり、人権推進課の男女共同参画支援事業と協力し、8月2日午前10時より開催した。最初に「食べる力は生きる力」と題し、歯科医師の古市先生に講話をしていただいた。親子で19組38名の参加があったが、皆熱心に聞いており、歯みがきや歯の健康に非常に興味を持っている様子であった。講演終了後、羽生家庭教育サポートネット キャロットの皆さんが作ったランチの食事会となった。その後の歯みがきタイム</p>	

会議事件名	て ん 末	
		<p>では、歯科衛生士の金子妙子氏より歯みがきの指導があり、最後は古市先生に歯科相談が15名程あった。このような講習会が若い保護者からのニーズがあることがわかったので、今後も継続していきたいと考えている。</p>
	石井委員長	<p>報告事項に関して質問・意見を求めた。</p>
	古市委員	<p>吹奏楽フェスティバルについて、無料で聞けるクラシックを市民の多くの方に聞いて頂ければと思う。PRについては、主催者である教育委員会が行うとなっているが、参加団体が自分達でもできないか、窓口を広げれば、もう少し多くの市民の参加を得られるのではないかと考えた。</p>
	生涯学習課長	<p>広報等で周知するが、参加する学校からもPRできるようにチラシを配ること等、考えていきたいと思う。</p>
	教育長	<p>埼玉県の吹奏楽フェスティバルを産業文化ホールで行っていた。何日間行っていたか。</p>
	生涯学習課長	<p>7月31日から8月3日まで開催された。南中学校が銅賞を受賞した。</p>
	教育長	<p>かなりのバスの台数だった。産業文化ホールをリニューアルした時に行った。</p>
	生涯学習課長	<p>オープンはまだであったが、大ホールは使えたため、県の吹奏楽イベントを羽生で開催して欲しかったため、会場として提供した。</p>
	古市委員	<p>多くの市民がそこに行く機会ができれば、地元の人々のメリットになるためPRしていただきたいと思う。</p>
	教育長	<p>文化財関係で、今年のムジナモの状況等について調子が良い様であるが、新聞にも出ていたか。</p>

会議事件名	て ん 末	
	生涯学習課長	<p>6月に調査した時点で、前年比で約10倍、3700程の株数その後約1万株に増えて順調に生育している。数も増えているが、サイズも大きく、先日も開花していた。5年間の緊急調査の成果が出ており、昨日の東京新聞にも記事が載り、関係者共々喜んでいいる。今後は大雨になるべく流されないように、対策を講じていきたいと思う。</p>
	教育長	<p>30数年取り組んで、ここに来て成果が実り、大変喜ばしいが、ムジナモは県の絶滅危惧種に指定されている。そのレッドリストから外す事が、今一番の課題である。レッドリストから外れないと、本当の意味で羽生に生息しているムジナモにならないのではないか。</p> <p>話は変わり、文化財指定についてだが、文化財は県の教育委員会の諮問を受けて、文化財保護審議委員会が検討し、答申があり、文化財指定されるという流れである。川侯のまわり地蔵そのものは長い伝統のもと行われており、代表的な地域の宝である。無形文化財として風習的なものも指定できるので、諮問をしても良い気がする。</p>
	生涯学習課長	<p>本川侯のまわり地蔵については、元々の風習があり、それをずっと続けている。文化財指定されることで、何とか地域の活性化に繋げたい。諮問については、前向きに進めていきたいと思う。</p>
	教育長	<p>諮問しないと文化財保護審議委員会も検証しない。審議委員の方には考古学の専門の方が多いため、こちらが積極的に動く必要がある。私が教育長になり、最初に文化財指定に取り組んだのが、てんのう様である。てんのう様自体は文化財にならない。神輿を中心とした“渡御（とぎょ）”が文化財指定された訳である。指定には入念な検証が必要であり、まわり地蔵も簡単には指定とならないと思うが、審議会に研究してもらうことにより、より価値が高まるのではないか。</p>
	古市委員	<p>チャレンジ the スポーツだが、参加者が小学生から83歳までのことだが、20歳未満の参加者のうち、小学生はどの程度いたのか。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第3 協議事項1 平成27年度(平成26年度事業対象)羽生市教育委員会の事務事業に関する点検評価報告書(案)について</p>	スポーツ振興課長	小学生については、30名前後であったと思う。
	古市委員	高齢者が中心かと思ったが、小学生が参加しており非常に良いことである。中学生はいたか。
	スポーツ振興課長	小学生だけである。
	古市委員	小・中学生はスポーツするとなると、部活等でどうしても親も駆り出される形となる。これは本人だけの参加で大丈夫であるか。
	スポーツ振興課長	主にスポーツ少年団の野球チームやミニバスチームの子ども達とその保護者の方の参加だったが、イベント自体は当日参加でも良く、個人で申し込んだ方もいる。自由に参加できる。
	教育長	元々、チャレンジ the スポーツはニュースポーツを広める目的で始まった。参加していたのは、始めの頃はスポーツ少年団が多かった。しかし、試合があつたり、なかなか参加できなくなってきたため、内容を工夫し、体力測定や健康年齢の測定等を取り入れた結果、高齢者の参加が増えてきた。参加する高齢者は皆が運動しようという気持ちで来ているため、健康そのものである。
	石井委員長	<p>報告事項について、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり。</p>
	石井委員長	協議事項1について、教育総務課長より説明を求めた。
	教育総務課長	<p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づいて、昨年度の教育委員会事務の管理及び執行状況について、点検及び評価を行うことになっている。主に昨年度と相違する点を説明する。</p> <p>点検及び評価の結果の1信頼される学校づくりの推進についての(1)生きる力をはぐくむ学校教育の推進では、主な取組として4年目となった「アドバンスクール事業」でベスト・アドバン</p>

会議事件名	て ん 末
	<p> ススクールとなった羽生南小学校で情報発信する学校図書館の運営を中心とした教育活動を展開した。事務事業の評価としては、環境整備により図書室が利用しやすくなり、読書や学習に意欲的に取り組む児童が増えた。(3) 学校・家庭・地域の三者協働による学校づくりでの主な取組として、「地域人材活用事業」及び「スクールボランティア事業」等を通して、地域と学校との連携を促進した。東中学校では、学校公開において様々な技能を持った地域人材を講師として招き、体験講座を行い、三田ヶ谷小学校では、盆栽教室、羽生南小学校では相撲・剣道・華道・茶道・日本舞踊等の和文化体験を行うなど、より一層地域の教育力を活用した事業を実施した。これについては、登下校の見守り活動や「みどりの学校ファーム」の指導、部活動の指導等も合わせて様々な分野で、家庭、地域の連携が進んだと評価している。(4) 学校給食の充実と食育の推進について、主な取組は学校の教職員や、PTAの代表等で構成する物資選定委員会で、価格のみならず、良質さの観点から給食の食材を選定した。これに対する評価は、学校給食センターの運営において、安定供給するため計画的な設備の更新を図る必要があること、また食材生産者への感謝の気持ちを育み、食文化の理解に寄与すること、生涯にわたり健康に暮らすため、学校給食の提供と併せて学校と連携した食育の推進が今後も必要であるとした。(6) 安全・安心な学校づくりについての取組は、羽生北小学校校舎2号館及び3号館大規模改造工事、三田ヶ谷小学校屋内運動場屋根・外壁等改修工事、東中学校校舎B棟大規模改造工事を実施した他、岩瀬小学校、三田ヶ谷小学校、羽生南小学校の受変電設備改修工事を行った。これに対しては、平成21年度より始めた校舎老朽化対策の大規模改造工事は累計8棟が完了した。また、災害時に地域の避難所にもなる屋内運動場については、天井材及び照明器具の落下防止対策を含む改修を開始し、累計2棟が工事完了した。今後も安全で快適な教育環境を確保するため、計画的な整備を進めていくことが必要であると評価した。 </p> <p> 次に、2 人権を尊重する教育の推進、(1) 学校における人権教育の推進の主な取組は、学習指導案作成時に「人権教育上の視点」及び「人権教育上の配慮事項」を明記した、全体計画や年間指導 </p>

会議事件名	て ん 末
	<p>計画を立て、着実な実践を行った。これに対する事業の評価として、効果的な取組を積極的に取入れ指導力向上に取組み、人権の歴史を再認識するための現地研修会を実施する等、人権教育に対する理解を深めたとした。</p> <p>続いて、3生涯学習の推進と文化活動の活性化の(1)市民の学習機会の充実として、主な取組は、公民館自主講座の充実に努めるとともに、「公民館だより」の発行、及びHPの掲載により地域住民に身近な情報提供を行った。公民館文化祭では、実行委員会により、地域住民が主体となった運営が行われ、公民館を中心とした活動に力を入れた。須影公民館の耐震補強等工事を行い、次年度に予定する村君公民館の耐震化に伴う実施設計も行った。これに対する事業評価は、引き続き講座内容については、利用者を引き付けるような創意と工夫を求める。公民館主事を中心としたワーキンググループなどを立ち上げ、今までと違う視点で公民館施設の整備やさらなる有効活用を推進する必要があるとした。(3)図書館・郷土資料館の充実について、主な取組は、図書館電算システムの更新である。これにより、インターネット上での資料検索時の書影の表示、読書履歴管理、新着メールサービス、スマートフォンによるウェブサービス連携と新たな機能を付加したサービスが提供できるようになった。これに対して、新たなサービスが提供されたことにより、利用者へ利便性が向上したと評価した。企画展に関しては、今後も市民の方の関心のある企画展を開催するとともに、資料の収集・保存活動に取組み、多くの方から関心・評価をいただける展示を行う必要があるとまとめた。(4)文化財の保護・活用と芸術文化の振興については、平成21年度から平成25年度にかけて実施した、緊急調査の成果を報告書としてまとめ、新たに策定した「保存管理計画」に盛り込んだ。永明寺古墳に関しては、墳丘直下の旧表土から検出された火山灰を分析したところ、5世紀末から6世紀初めにかけて、その「時期に降下したものである」との結果が得られ、築造年代を考える有力な情報を得ることができた。これらに対する評価は、ムジナモ自生地の放流実験においては、5年連続で越冬に成功し、その後も順調に生長するなど、野生復帰に向けて着実に前進している。「永明寺古墳」については、今年3月13日付けで埼玉県指定史跡として指定され、今後の展開が大いに期待されるとした。</p>

会議事件名	て ん 末	
		<p>4 生涯スポーツの振興について、(1) スポーツに親しめる環境づくりでは、施設面では給排水などの衛生設備や電気設備などの老朽化が著しいため、その改修工事の実施設計を行った。また、中央公園内のランニングコース案内看板の改修を行い、消費カロリーを表示して運動量の可視化を図り、利用者のモチベーションの向上に努めた。これに対して、羽生市中央公園体育施設及び市体育館内の各設備・器具等の新たな備品の購入や定期的な修繕を継続的に行い、市民誰もがスポーツを安全・快適に楽しめる場の環境づくりが必要であると評価した。(4) 優秀なスポーツ選手の育成については、元プロ野球選手による野球教室を2日間開催した。また、数多くのオリンピックメダリストを育てた小出義雄監督と、佐倉アスリート倶楽部を招き、ランニング教室を開催した。事業の評価は、毎年継続してプロの指導を受ける野球教室において、スポーツ少年団員・小中学生・監督・指導者等にノウハウが段々と蓄積されていることが実感できることから、これらの事業についても毎年継続した事業展開が必要であるとした。</p> <p>石井委員長 協議事項1について質問・意見を求めた。</p> <p>教育長 教育環境の中で学校図書に関して、残る課題は学校図書の冊数、充足率である。それを取り巻く環境については、ほとんど完成している。例えば、人の方では、学校司書の配置、ハード面では図書システムが構築された。ただ平成24年から5年計画で、国が図書の冊数を充足するようにと指示して、かなりの額を一般財源として計上している。図書は入れ替えていくべきものと、蓄積していくものがある。羽生市では、24年の段階でかなり廃棄したため、充足率が下がった。27年、28年と、5年計画の内、残り2年間でどの学校も100%に達するような計画で進めていることと思うが、進捗はどうか。</p> <p>教育総務課長 報告書に載せたものは3月31日現在の達成率である。5年で100%達成したい考えはあるが、財源的な問題として、それだけ予算措置が保障されている訳ではない。選書する学校の立場として</p>

会議事件名	て ん 末	
	<p data-bbox="480 573 568 607">教育長</p> <p data-bbox="480 1339 596 1373">学校教育課長</p> <p data-bbox="480 1532 596 1565">生涯学習課長</p>	<p data-bbox="624 286 1447 510">も、1年間に選書可能な冊数は年間400冊程度が上限ではないかと考えている。達成率の低い、須影小学校や井泉小学校は、場合によると5年で100%とすることは難しいかもしれないが、年度ごとの予算要求をし、図書標準を達成していけるよう学校と協力していきたい。</p> <p data-bbox="624 573 1447 1272"> 図書を購入するのは学校であり、どのような本をどのような形で買い、充足していくかを学校と教育委員会が共有していなければいけない。ただ100%揃えればいいのではないという理念をきちんと持っている学校が特色ある図書の揃え方をして、それでも図書標準を達していないのならば、それはそれで十分意味がある。学校への指導を徹底して行うべきであり、教育委員会が考えていることを学校に伝えなければ、予算が効果的に使われない。14校中で100%達成している学校は3校しかない。その意味では教育委員会として積極的に充足率を高めることと、子ども達の読書意欲を高める指導をするために、各学校への啓発等を行っていく予算を確保しなければならないと思う。廃棄する図書もあるため、マイナスしてプラスする。廃棄した冊数より多く購入しなければ充足率は上がらない。不要なものは思い切って、廃棄したためこのような結果となっている。これだけ蔵書の状況がはっきり把握できているのは、図書システム構築による効果が大きい。 </p> <p data-bbox="624 1339 1447 1464"> 羽生市スクールソーシャルワーカーの導入により、学校にて保護者との面談もするようになり、成果を上げていることを付け加える。 </p> <p data-bbox="624 1532 1447 1800"> 生涯学習関連の青少年の健全育成の推進の中で、高校生インストラクター講座において、講師となった高校生が生活で培った能力を地域社会へ還元することや、子ども大学での地元の企業が積極的に子ども達に工場見学を視察させてくれたこと等、そのような体制づくりに取組むことが今後大切であると思ひ、今後も力を入れていきたい。 </p>

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第4 議案第45号 議会の議決を経るべき議案について（平成27年度教育費補正予算（第2号）について）</p>	石井委員長	<p>協議事項1についてはよろしいか。</p> <p>異議なしの声あり。</p>
	石井委員長	<p>議案第45号については、冒頭承認を得た通り、非公開審議とする。議案第45号について、教育総務課長より説明を求めた。</p>
	教育総務課長	<p>平成27年度補正予算（第2号）総括表について、歳入より説明する。教育総務課分、教育費国庫補助金、学校施設環境改善交付金は、補正額47,528千円減額となる。これは新郷第二小学校の大規模改造工事について、当初予算編成時には国庫補助金を歳入するものとして見込んでいたが、補助の決定に至らず、財源の組替えをするため、国庫補助金の減額を行うものである。</p> <p>次に、学校教育課分、教育費委託金、ICTを活用した教育推進自治体応援事業委託金として350万円である。これは、教員等のICTの活用使用力の向上を図るためのモデルカリキュラムを作成するものとして国の補助金を活用するもので、全額国庫補助となる。</p> <p>歳出については、先ほどの学校教育課事業の350万円についての補正である。フューチャースクール研究事業、報償費、指導者等への謝金22回分で605千円。旅費の内容は、東京や茨城等への視察旅費として8万円。タブレット用のアプリ、プリンター、指導案等の印刷のための需用費として、2,692千円。研究発表、開催案内の発送として、役務費が123千円計上しており、合計350万円を歳出とし、補正をするものである。</p>
	石井委員長	<p>議案第45号について質問・意見を求めた。</p>
	教育長	<p>歳入47,528千円の、減額補正について、今年度の予算に計上していた補助金が、国から急に補助できないとの話が出た。これは埼玉県だけでなく、全国的なことである。しかし、工事の計画は</p>

会議事件名	て ん 末	
議案第46号 羽生市永明寺古墳魅力づくり協議会設置要綱		<p>たっており、補助金が充てられない部分は起債で対応する。国に来年は補助金の交付はあるかと問い合わせたところ、はっきり大丈夫とは言わなかったが、来年は大丈夫でないかと思う。そうでなければ、老朽化対策が全国的に進まなくなってしまう。</p>
	石井委員長	<p>議案第45号についてはよろしいか。</p> <p>異議なしの声あり。</p>
	石井委員長	<p>議案第45号は可決された旨、宣した。</p>
	石井委員長	<p>議案第46号について、生涯学習課長より説明を求めた。</p>
	生涯学習課長	<p>第1条で永明寺古墳の魅力に満ちた保存及び活用について協議するために、協議会を設置する旨、規定している。第3条において組織は10人以内とし、識見を有する者、文化財の審議委員会を代表する者、永明寺古墳の地権者を代表する者、村君地区を代表する者から委嘱するとしている。永明寺古墳保存整備については、検討委員会があり、専門家を交えて協議を重ね、報告をまとめたものがある。その中に地元の方を入れた今後の魅力等を高めるための、保存と活用についての協議会を設けて欲しいとの依頼と要望があり、この度協議会の設置要綱を制定しようとするものである。地元の方と意見交換をしながら今後の保存と活用に努めていきたいと思う。</p>
	石井委員長	<p>議案第46号についてはよろしいか。</p> <p>異議なしの声あり。</p>
石井委員長	<p>議案第46号は可決された旨、宣した。</p>	

会議事件名	て ん 末	
	石井委員長	次回定例教育委員会の開催日程について事務局より説明の旨。
	教育総務課長	次回定例教育委員会は、9月24日午後1時30分より、教育委員室で開催する。
	石井委員長	閉会を宣した。
		<u>委員長</u> _____
		<u>委員</u> _____
		<u>委員</u> _____
		<u>書記</u> _____